

会 議 録

会 議 名	令和4年度第1回東浦町空家等対策協議会	
開 催 日 時	令和5年3月17日（金曜日） 午後2時00分から午後3時30分まで	
開 催 場 所	東浦町 勤労福祉会館 会議室1	
出 席 者	委 員	小松尚氏(会長) 神谷町長 神谷優氏 高見靖雄氏 原田敏嗣氏 水野博隆氏 宮池始氏
	事務局	棚瀬都市整備部長 川瀬都市計画課長 入海建築係長 山田技師
議 題 (公開又は非公開の別)	議題1 空き家実態調査の報告について（公開） 議題2 空家等対策計画の見直し（案）意見聴取について（公開） 議題3 藤江字荒子地内空き家の進捗状況について（非公開）	
傍 聴 者 の 数	0名	
議 論 内 容 (概 要)	議題の議論内容については、別紙のとおり	
備 考		

【開会挨拶】

町長より挨拶

【議題1 空き家実態調査の報告について】

事務局が議題1について説明

〈意見質問等〉

委員：適切に管理されていない空き家数と、雑草や樹木等が繁茂している空き家数とは具体的に何が違うのか。

事務局：出入りが見受けられない空き家について、適切に管理されていない空き家としており、その内、草木等の影響により近隣に悪影響を及ぼす可能性がある空き家について、雑草や樹木等が繁茂している空き家としている。

委員：平成27年度調査において確認している、適切に管理されていない空き家については、数だけ把握しているのか、また地図上等でも把握しているのか。

事務局：地図上等で把握している。

委員：住民基本台帳確認後の空き家数が294件と多く見受けられるが、今後の調査対象の空き家数が91件と少ないのはなぜか。

事務局：今後の調査対象の空き家91件については、住民票がまだ残っている空き家になるため、現状において空き家と判断して良いかを確認するための空き家数となっている。

委員：空き家実態調査を行ってから解体される空き家もあると考えられるが、解体された空き家については、どのような取り扱いになるのか。

事務局：解体された空き家については、空き家管理台帳から削除する。

【議題2 空家等対策計画の見直し（案）意見聴取について】

事務局が議題2について説明

〈意見質問等〉

委員：計画策定から4年経過するが、あまり効果的に空き家対策が進んでいるように見受けられない。対策の基本方針でも高齢者に対する空家等対策の促進も記載されていることから、福祉部局との連携を図り、計画の見直しを行ってほしいと考える。

事務局：今年度、再度空き家の実態調査を行ったため、来年度において現在の状況における計画の見直しを行っていく予定である。民法及び相続登記の義務化等、制度の見直しも図られているので、高齢者に対しても対策が講じられるよう

計画策定を考えていきたい。

委員：福祉関係者に現状の空き家の問題等を直接伝える場を設けるなど、ケアマネージャー等も含めて周知していく必要があると考える。

事務局：今年度の空き家対策講演会での周知活動では、老人会の総会で、講演会の周知を行う等の取り組みを行っている。また来年度においては、講演会の会場をイオンで行うことを検討しているので、高齢者等に対して家族世帯で空き家について考えてもらうよう活動していきたい。事務局としても福祉部局との関係をさらに強化していく必要があると考えている。

委員：平成 27 年度に空き家の実態調査を行い、対策計画にその結果が記載されているが、対策が思うように進んでいないと思われる。特に再建築が不可になる空き家について、中々進展していかないと考えられるため、今回の計画見直しでは、そういった空き家に対しても啓発活動を行っていく内容としてもらいたい。

事務局：了承。

委員：目標値の設定について、現在 5 年後の目標値として 5 件との記載があるが、全体が 310 件ある中で、5 件だけで良いのか等、誤解を生じてしまう可能性もあるため、全体を見通しての目標値の設定を考えてみてはどうか。

事務局：目標値については、他の指標を検討するなど、実情に合ったものとしたたい。

委員：空き家の維持管理について、シルバー人材センターとの連携との記載があるが、具体的にはどういった連携になるのか。民生委員との連携も考えられるが、民生委員はあまり空き家の観点では見ていないのが現状である。

事務局：策定当初は、シルバー人材センターとの連携の話があったため、その内容を記載しているが、連携できていないのが現状である。愛知県宅地建物取引業協会との協定を活かした方針へ修正していく予定である。

【議題 3 藤江字荒子地内空き家の進捗状況について】

事務局が議題 3 について説明

藤江字荒子地内の危険な空き家の進捗状況に対する意見聴取

午後 3 時 30 分 閉会